

民報 藤島

2015年 2月 8日

第 985号

編集発行
日本共産党藤島支部

生活相談所
加藤鉦一(宝徳)
Tel.0235-64-3941
携帯090-8929-4221
HPは「藤島 加藤鉦一」と検索で入力。

発行経費にカンパをお願いします。民報
願いしてご連絡下さい
配布者にご連絡下さい
(月 177円程度)
2月 16人 5,750円
1月 38人 30,109円

過激武装組織「イスラム国」の蛮行糾弾 対処は国連安保理決議に沿って 志位委員長が声明

声明の要点を記し、若干コメントします。

声明の要点

①湯川遥菜(はるな)・後藤健二両氏の殺害は残虐な蛮行で糾弾する。
同時にご家族・関係者のみなさんにお見舞いを申し上げます。
②国際社会が結束して「イスラム国」に対処し、国連安保理決議2170(2014)年8

月に基づき、外国人戦闘員参加阻止、資金源遮断などで、孤立させ解体に追い込むこと。外交もこの方向で進めること。

③政府の対応を、全ての情報を公表し検証すること。

④安倍首相は、米軍空爆への自衛隊後方支援は「憲法上は可能」として、自衛隊の海外派兵検討を表明したことは断じて認められない。

武力広がる不安

コメント

マスコミ等の論議は、①③については共通しています。②④について、共産党以外あまり聞かれませんが、日曜討論で山下書記局長が、②を取り上げ

ましたが司会者は問題にできなかったようです。あのような蛮行勢力は武力しかないという風潮が広がる不安を抱きます。

しかも「イスラム国」は今後も日本人を狙うなどと宣言しているのですから。

ところが2003年、米英主導のイラク戦争に自衛隊を派兵した時から、邦人殺害が増えている事実(別表)を直視してください。

同じように安倍首相の「邦人救出に自衛隊検討」発言は、戦前の戦争口実と同じで、人質の増大を生む恐れがあるでしょう。

アメリカ米に特別輸入枠 暴落を永続化させるのか!

日米間でTPP交渉

が大詰めを迎え、農産物重要5品目の関税引き下げ(牛肉関税を15年で現行38・5%から9%にまで引き下げなど)や米の特別輸入枠の設定(現行のミニマムアクセス米77万トと別に主食用米5万ト枠)など日本政府が妥協案を示したと報道されて

自民党候補を振り切り共産党候補が当選 北九州市議補選(定数1)

太田榮市氏の主張

民報藤島1月25日号に、太田榮市氏の「農を守る佐賀県に拍手」(山形新聞「私の主張」)が紹介された。

「自民党を長く支えてきた農協関係者が、今負ければ政府の唱える「農協改革」が進んでしまうとの懸念を強め、(農政協議会)をフル稼働させた。その結果が自民党の推す候補を退けた。：素晴らしい決断：素晴らしい行動：素晴らしい成果」と拍手を送る。

北九州市議補選でも

北九州市議補選(定数1)で同じような状況が起きたことを、しんぶん赤旗1月28日付が報じている。

一般紙は地方選として取り上げていない。自民党候補を僅差で振

り切り共産党候補が当選したのである。

佐賀県同様、政府の「農協改革」が進む中、農業団体は自民党候補を推薦しなかったのに加え、「農協改革」に反対し、農協の自主性尊重、組合員・役員が共同し協同組合の役割を発揮するという共産党の政策に共感が広がったという。

ある農業関係者はつぎのように語っている。「農協つぶしだし、TPPも妥結してしまえば農家は全滅してしまう。明日食えるものをつくる農家を助けることこそ必要ではないか。自民党一本ではうまくいかない。：農家は党派を超えて同調してくれた。」

4月県議選では、「きっぱり発言、ドンドン行動」関とおる候補勝利で春の激変を! (青山)

います。

そうなれば「聖域確保」の国会決議も反古にされ、日本の全面屈服です。

市場まかせにして米過剰をつくり、米価暴落にあえぐ稲作農家にさらなる米輸入の拡大は、暴落を永続化させ、「離農宣告に等しい。悲痛な声が届いているのか。」(日本農業新聞3日付「論説」)
アメリカ言いなりと財界主導の農業つぶしに反撃の時です。

邦人が犠牲になった 中東などの主な事件

- 2003年11月 イラクで在英大使館の奥克彦参事官ら2人が銃撃され殺害される
- 04年5月 イラクでジャーナリスト橋田信介さんら2人が銃撃され殺害される
- 10月 イラク旅行中の香田証生さんが拉致、殺害される
- 05年5月 イラクで英警備会社勤務の斎藤昭彦さんが拉致、殺害される
- 08年8月 アフガニスタンでNGOスタッフ伊藤和也さんが拉致、殺害される
- 12年8月 シリアでジャーナリスト山本美香さんが銃撃を受け死亡
- 13年1月 アルジェリアで天然ガス施設が襲われ、日揮の新谷正法さんら10人が死亡
- 15年1月 「イスラム国」に殺害された湯川遥菜さんとみられる画像がネットで公開
- 2月 「イスラム国」が後藤健二さんを殺害したとみられる動画を確認

しんぶん赤旗2月2日付より



しんぶん赤旗2月2日付1面

新春交流会開催される

藤島こーぷ委員会・庄内医療生協藤島支部共催

1月31日、藤島地区
地域活動センターで約
50人が参加して新春交
流会が開催されました
(写真)。

鶴岡協立病院長の堀
内医師が「健康寿命を
延ばそう、平成の養生
訓」と題して講演。「①
食事、②運動、③生き
がいが大切である」と



話し、参加者から多く
の質問が出され丁寧に
答えていました。
鶴岡生協からは、紙
芝居で、「平和憲法を改

おどろくべき年金基金管理 のトップ給与

日本経済新聞2日付
「ラム」風速計」に、
年金基金を管理してい
る年金積立金管理運用
独立行政法人（GPIF）
のトップの給与につ
いて書いています。
この1月、GPIF
は、理事長の年収を約
1900万円から31
00万円に引き上げ、
新設の最高投資責任者
（CIO）の年収を3
000万円にし、さら
に、新たに設けた運用
専門職の月給は最高で
145万円で、成績が

正し戦争のできる国に
する企みや、秘密保護
法の危険な動きへ皆で
反対していきましょう」
という話がされました。
会食交流会では、関
徹さんが駆けつけ、県
政の分野で活動する決
意を述べられました。

好調なら上積みされ理
事長の年収を上回る可
能性もある」とのこと。
厚労省は、いままで

GPIFの理事長は「公
務員待遇」だったが、
日銀総裁の年収（35
00万円）を超えない
程度に引き上げたと言
明。その原資は、国民
が汗水流して働いて貯
めた年金基金です。
基金を株に投資し博
打を打つ人の給与は引
き上げ、国民の年金給
付は引き下げる政治で
良いのでしょうか。

みのもんたさんズバツと登 場、ズバツと語る

—「しんぶん赤旗」を読んで 青山 崇

関とおる県議候補が、
先日の生協・医療生協
新春交流会の挨拶で取

り上げた記事である。
ほぼ一年前、次男の不
祥事でキャスターを降
板したもんたさんが、
赤旗日曜版（2月1日
号）に登場、政党助成金

・沖縄・原発・憲法・
共産党等を語っている。
主義主張が違うのに、
助成金貰うために「政
党」つくる、情けない
ね。共産党は受け取ら
ない。立派だね。戦争
中おふくろのお腹の中
にいた時、兄の通夜の

日、父に召集が来て弔
問の人はみな「バンザ
イ。おふくろから「日
本は戦争でどれだけの
人間を死なせたかよく
考えなさい」と何回も
聞かされてきたという。
降板したが、「原発止
めてもネオンはこうこ
うとついている。再稼
働を言い出したとたん
に、自然エネルギーの
買取りストップだと。
「何を考えているん
だ！」と番組で言いた
かったね。

どうしても言いたい
のは、日本の憲法は押
し付けられた？冗談じ
やない。傲慢しろよ！
絶対に戦争だけは避け
なきゃいけない。
少年の頃住んでいた
所に、共産党の岩間正
男（元参議院議員）さん
が住んでいて、「困った
ときの岩間さん」と呼
ばれ、頑張ってくれた
人、それで共産党に近
親感があるんですと結
ぶ。



安倍総理の恐怖政治

恐ろしいことではあ
りませんか。こんなこ
とに馴らされてはいけ
ませんヨ。俺には背ス
ジが凍る感じですが。

▼何がかと言えば自民
党政府の国会登壇です。
シャーシャーと民主主
義を否定しているのだ。
ナント言われようとシ
ュクシュクと新しい基
地を作るといふのだぜ。

▼まさに恐怖政治その
ものでシヨ。辞書によ
れば恐怖政治はテロと
出ていましたが、今の
首相や官房長官の沖縄
県民に対する行為はそ
れに当てはまるでしょ
う。

▼この頃「〇〇特区」
と名づけて特別に奨励
しようという施策があ
るようだが、沖縄を戦
後70年、一貫して米國
の軍事基地という「特
区」にしてきたのだ。
それがイヤダという沖
縄の総意が示されたの
だ。

▼それをナンノ痛苦も
感じず眉ひとつ動かさ
ず沖縄の心を否定して
いる。こんなことは民
主主義の社会では許さ
れないことなんです。
これこそ民主政治でな
く恐怖政治に外ならな
いでしょうや。

▼戦後70年間の中には
今年の予算のつけ方の
ように財政的にシメツ
ケて、政権の思いに添
う県政を操作してきた
ことがあったが、今度
はそんな手は通じない
ゾ、というのが衆議院
選挙の結果なんです。
▼この沖縄の心こそ、
今自民党が推めようと
している「地方創生」
ということにピツタリ
ではありませんか。島
グルミで基地に頼らな
いで沖縄を発展させる
というんですから。ナ
ニも官僚がイバツテ審
査をする必要もないこ
とでしょう。

▼アンタ方からすれば
両手を上げて歓迎すべ
きことですヨ。そうし
てこそ民主政治でしょ
う。(石川)



しんぶん赤旗日曜版2月1日付